

令和 8 年度第 1 回菊池市国民健康保険事業運営に関する協議会会議録

日時：2026 年 7 月 23 日 午後 7 時 00 分～午後 8 時 00 分

場所：本庁 2 階 204 会議室

出席者：委員 10 名、健康福祉部長、保険年金課 8 名、健康推進課 1 名

- 1 開会
- 2 部長挨拶
- 3 会長挨拶
- 4 議題

議題 1：令和 7 年度菊池市国民健康保険特別会計決算見込み及び実施状況について

資料【P2～17 令和 7 年度菊池市国民健康保険特別会計決算見込み及び実施状況について：事務局説明】

委員

令和 5 年の基金がかなり高額になっているが、なぜか？

事務局

基本、決算剰余金等で余った分を決算の際に積み立てている。なぜ令和 5 年が高額になっているかについては、確認して次回回答する。

委員

歳入の繰入金の基金繰入金が決算見込みで 0 になったのは、歳入と歳出の差引額が 2,000 万円で、繰り入れまでする必要がなかったからか？

事務局

剰余金が発生したため、繰り入れなかった。

委員

繰り入れをしないことはよくあることなのか？

事務局

令和 7 年度は、税率改正と納付金の減少により、基金からの繰り入れを行わずに済んだ。

委員

特定保健指導の動機付け支援と積極的支援は、どのような形で実施されているのか？

事務局

集団健診・個別健診・人間ドックの実施後に行っている。保健指導まで委託している医療機関については医療機関で実施し、委託していない医療機関で受診した方については市の保健師で実施している。

委員

基金繰入金の決算見込みが 0 になっている件について、前年度までは基金を取り崩して

いく必要があると話されていたが、国保税率の改正によりこれだけ改善したのは素晴らしい。

委員

特定健診・歯科検診を受診する人が少ない。口のフレイルを早く見つけることで介護に移行するリスクを軽減できるという結果もあるため、ぜひ推進をお願いしたい。

委員

療養給付費が減っているのは、利用する人が減っているからか？

事務局

被保険者数の減少に比例して療養給付費も減ってきていると考えている。

委員

今後、人口減少により給付費も減少するのか、それとも、一旦人口減少は横ばい、もしくは少しずつ増大していくのか、どういう想定をしているか？

事務局

基本的には、人口は減っていくと考えられる。医療技術の高度化により給付費が高くなることも予想される。

委員

1人当たり医療費が減っているが、なにか理由はあるのか？

事務局

令和6年度と令和7年度の比較で言えば、受診の件数自体が減っている。被保険者数の減少に伴って、受診の件数も減ってきていると分析している。

委員

決算見込みの歳入歳出で差額が2,000万円出ているが、これは基金積立金ではないのか？

事務局

基金に積み立てるか、翌年度に繰り越しを行うかについては、今年度の収支の状況を見て決める予定である。

委員

今後、積立金についてどうしていくのか考えている部分があれば教えていただきたい。

事務局

特別会計の歳入と歳出のバランスが難しく、どうなるか見えない部分が多い。状況を見ながら、できるだけ歳出を減らして積み立てていきたいと考えている。

委員

令和6年も令和7年も、基金がなかったら赤字。こういうことが起こるのであれば、やはり積み立てないといけないと思う。

事務局

菊池市の医療費が約 40 億円。その 3～5%の約 1 億 2,000 万円～2 億円が、本来の標準的な基金の積立額になるため、そこを目指していきたい。

議題 2：菊池市国民健康保険税及び令和 8 年度制度改正について

資料【P18～31 菊池市国民健康保険税及び令和 8 年度制度改正について：事務局説明】

委員

子ども子育て支援分で得た収入は、子ども子育て支援に回さなければならない決まりや法律があるのか？また、いくら収入があり、何にいくら使ったのかなど、きちんと文面で残さないといけないのか？

事務局

納付金に、今回新たに子ども子育て支援分が追加され、市から県へ、県から国へと流れていき、子ども子育て支援の財源となる。

委員

増収とは書いてあるが、実質その分を使えるわけではないのか？

事務局

子ども子育て支援分については、市→県→国へ流れていく。

議題 3：その他